

ダウン症の青年期成人期支援のために必要なこと

ダウン症の青年期・成人期、高齢期を視野に入れたプログラム

青年期を迎えるダウン症のある人の思いを受け止め、どのように支援していけば良いのか。健康管理を含め、学齢期・青年期・成人期の支援プログラムに取り組んでいらっしゃる講師の方々とともに、支援のあり方を考え、現場での取り組みの糸口をつくるセミナーです。参加対象は、障害児者施設職員・相談支援専門員・保健師・学校教員・医師などダウン症のある人を支援されている方々です。

開催日時：2024年8月3日(土) 12:30～16:30

会場：東京日本橋タワー 31階 太陽生命会議室

東京都中央区日本橋 2-7-1 (地下鉄銀座線・東西線・浅草線 「日本橋駅」直結)

参加費：4,000円 会場での直接聴講Aのほか、後日オンデマンドでの聴講Bも選択できます。

締め切り：7月21日(日) ※直接聴講は参加定員150名定員になり次第締め切りとさせていただきます。

申込方法：A・BそれぞれのPeatixの受付登録フォームよりご登録ください。

プログラム

事前視聴 7月1日～9月31日 限定配信を予定

ダウン症に関する基礎知識についてオンラインで学んでいただけます。

●「ダウン症支援基礎編1」「ダウン症支援基礎編2」 講師：菅野 敦先生

A 東京日本橋タワー 31階 太陽生命会議室での直接聴講

12:30～13:00

「ダウン症の健康管理」

講師：玉井 浩

ダウン症協会代表理事、大阪医科薬科大学名誉教授



13:05～14:30

「成人期を迎えたダウン症のある人の可能性

QOL維持のための支援」

講師：真野英寿先生

昭和大学高等豊洲病院 リハビリテーション科診療科長

14:30～16:30

「ダウン症の学齢期・青年期・成人期に大切にしていきたい支援」

講師：菅野 敦

東京学芸大学名誉教授

※ 後日配信でも視聴いただけます

B オンデマンド配信

Aの講義を後日(8月3日以降準備が整い次第)、配信でご視聴いただけます。



講師プロフィール

玉井 浩 (たまいひろし)

ダウン症協会代表理事

大阪医科薬科大学名誉教授

大阪医科大学(現、大阪医科薬科大学)卒業後、小児科専門医・小児神経専門医を取得。現在は同大学小児教授をへてを経て、成人期のダウン症のある方の診療もおこなう。

病気ではなく、まずその人を知ること、そしてより社会に知ってもらうことを目指し幅広い活動を続けている。



真野 英寿 (まのひでとし)

昭和大学高等豊洲病院

リハビリテーション科診療科長

平成2年昭和大学医学部卒、同大学リハビリテーション科入局。同大学藤が丘リハビリテーション病院などを経て現職。日本リハビリテーション医学会指導医・専門医。

身体障害者福祉法15条指定医、義肢装具適合等判定医。都立北療育医療センター城南分園整形診、特別支援学校(知的障害)

菅野 敦 (かんのあつし)

北海道出身。大学卒業後、知的障害特別支援学校に勤務。その後、知的発達障害児・者の学習や発達に関することを学び、研究するために、大学院に入学。博士課程修了後、東京学芸大学に勤務。一貫して、知的発達障害、なかでもダウン症候群を対象に、乳幼児期から成人期までの発達特性及び各ライフステージにおける発達課題の解明を行う。「生涯発達支援」の視点から指導・支援のための方法や教育課程・支援計画に関する研究を目指す。

